



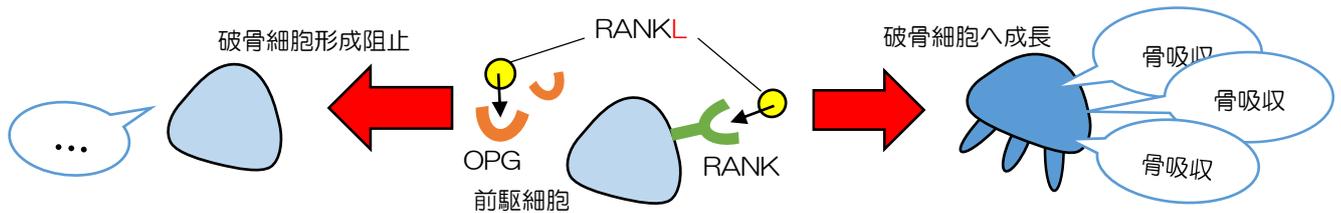
おくすり通信

No. 52 抗RANKL抗体～骨粗鬆症治療薬～

こんにちは、薬剤科です。これまで破骨細胞の働きを阻害し骨吸収を抑制するお薬をご紹介しました。今回は破骨細胞自体の形成を阻害するお薬についてご紹介します。

《破骨細胞の形成》

破骨細胞の形成、活性化に関わる物質にRANKLがあります。RANKLは結合する受容体が2種類存在し、その内破骨細胞の形成に関与する受容体がRANK、破骨細胞の形成阻止に関与する受容体がOPGといえます。この2つの受容体に結合しながら破骨細胞の調整が行われています。



用語まとめ		
RANKL	破骨細胞分化因子	Lは受容体に結合する物質であるリガンドを指す 破骨細胞の分化において欠かせない物質
RANK	破骨細胞分化因子受容体	RANKLと結合し破骨細胞を形成
OPG	破骨細胞形成抑制因子(おとり受容体)	RANKLと結合し破骨細胞の形成を阻止

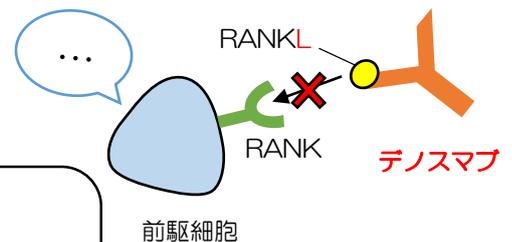
※参考文献：保田尚考.抗RANKL抗体製剤の作用機序-骨粗鬆症治療薬からがん治療薬への適応拡大の可能性-.日薬理学雑誌,2019,153,p.11-15.

《抗RANKL抗体》

RANKLと特異的に結合することでRANKLがRANKと結合するのを阻害するのが抗RANKL抗体です。これにより破骨細胞の形成、活性を防ぐことができ、骨吸収の抑制につながります。

骨粗鬆症に適応のある抗RANKL抗体をデノスマブ(プラリア)といいます。こちらのお薬は、骨粗鬆症第一選択薬であるBP製剤で効果が乏しい、又は副作用が強い場合に選択される傾向にあるお薬です。

一般名	商品名	特徴
デノスマブ	プラリア皮下注シリンジ	6ヶ月に1回外来で皮下注射 日数制限なし



デノタスチュアブル配合錠：
抗RANKL抗体投与に伴う低Ca血症の治療及び予防に適応あり！

《急な中止はNG!》

こちらのお薬を中止すると骨量の急激な減少、骨代謝の急激な上昇がみられ骨折のリスクが増大します。そのため、中止する場合は別の骨吸収抑制薬を開始する必要があります。自己判断で外来受診を止めるなどせず継続的な通院を心がけましょう。

また、特徴的な副作用に顎骨壊死があり、定期的な歯科検診や口腔内を常に清潔に保つことが必要です。歯肉の腫れ、痛み、顎のしびれなど違和感がある場合は、早めの受診をお勧めします。

そのほか気になる点がございましたら、お気軽にご相談ください。